

2022 年度 卒業時調査の結果報告について

2023 年 2 月

各位

看護学部 IR 担当より、卒業時調査の結果についてご報告いたします。

本調査は、従来の 2 つの調査（学生満足度調査、アセスメントテスト）を統合し新たな項目を追加した上で、2019 年度より実施しています。

2022 年度分は昨年度と同じく Forms 上でのオンライン実施となりましたが、昨年度の回収率（79.8%）よりやや低く 74.3%です。

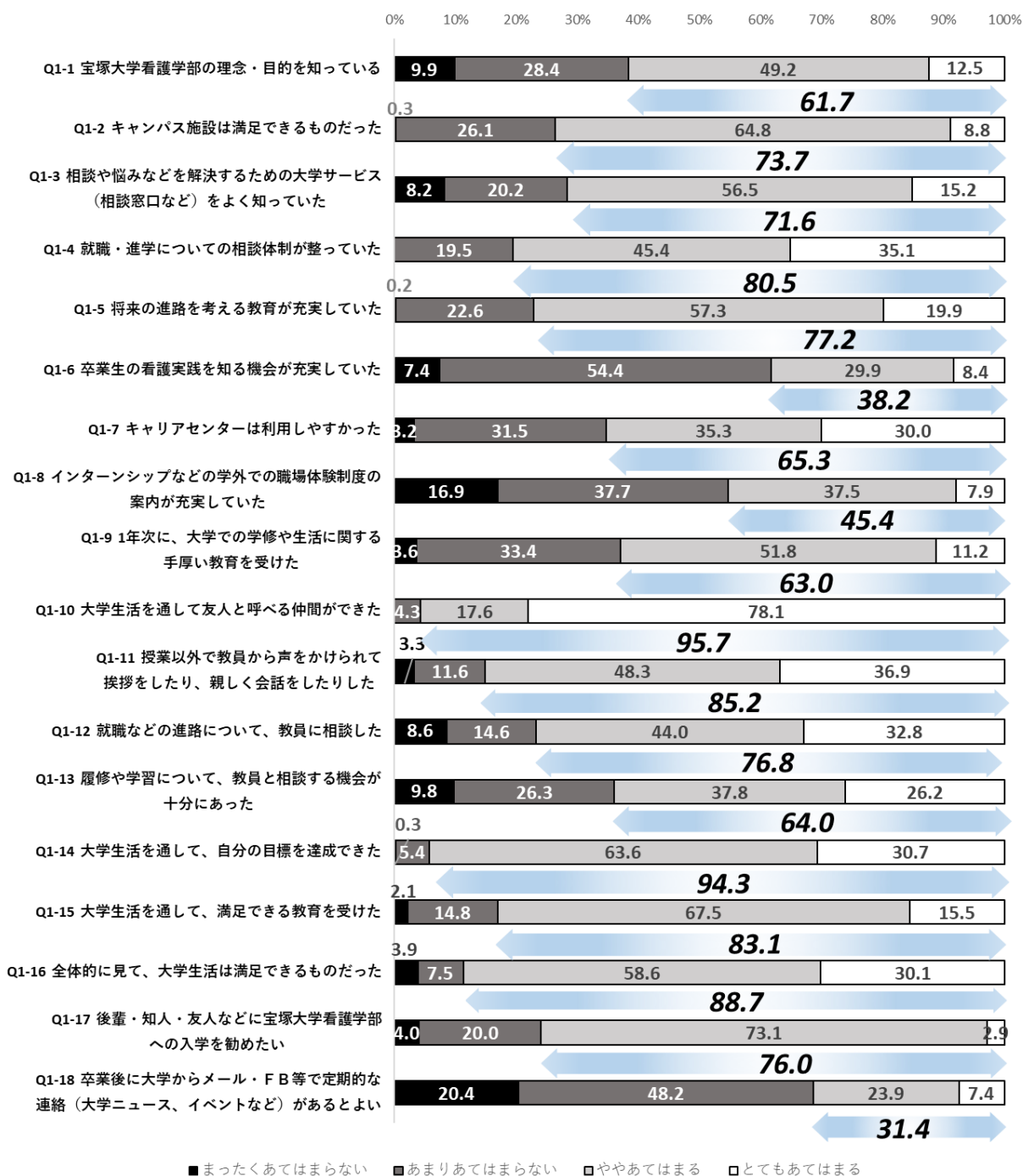
本調査データにつきましては、今後様々なデータと接合することで、本学の教育面・環境面の向上に役立てていく予定です。

まずは、単純集計結果のみのお知らせとなりますが、ご参考いただければ幸いです。

- 実施調査名：「宝塚大学看護学部 2022 年度 卒業時調査」
- 実施日：2022 年 2 月 15 日
- 対象：4 年次生
- 回収数：75（卒業生 101 名：回収率 74.3%）

Q1. 大学生活について

※図中の太字・斜体の数値は「とてもあてはまる」「ややあてはまる」の合計(%)



Q1. 大学生活について

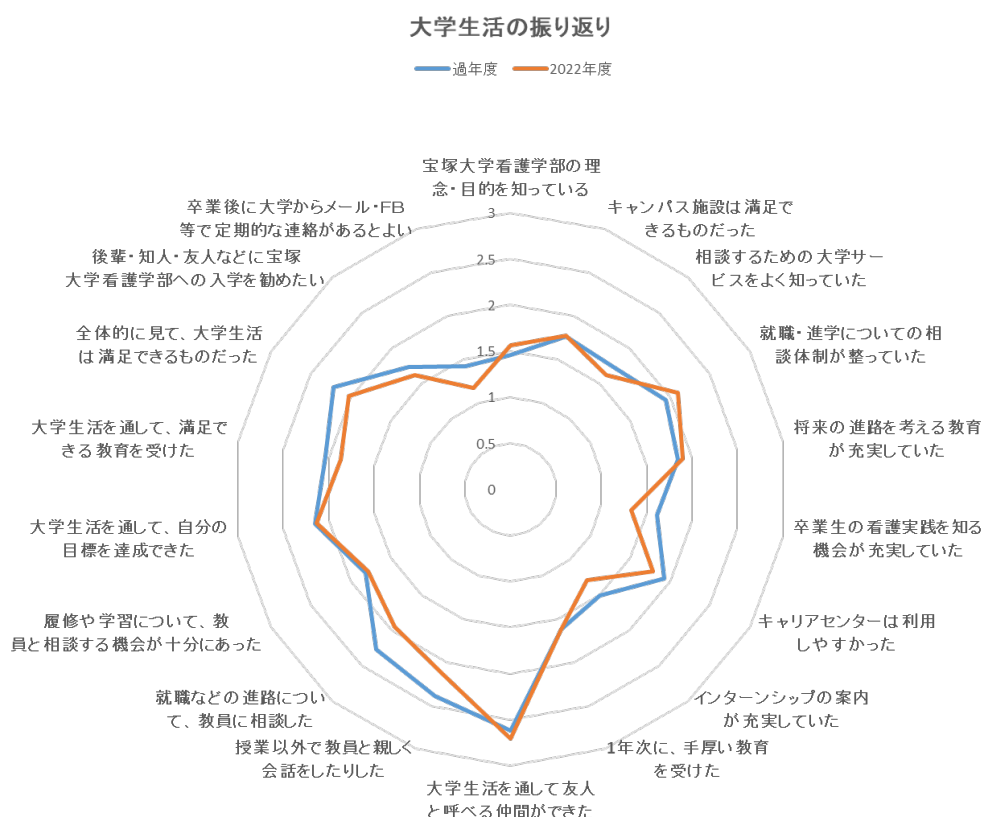
肯定的回答割合(とてもあてはまる+ややあてはまる)がもっとも多かった項目は、「大学生活を通して友人と呼べる仲間ができた」と「大学生活を通して自分の目標を達成できた」

と 95%程度であり、前者は例年通りである。次いで、「全体的に見て、大学生活は満足できるものだった」や「大学生活を通して満足できる教育を受けた」「授業以外で教員から声をかけられて挨拶したり、親しく会話をしたりした」「就職・進学についての相談体制が整っていた」で、それぞれ8割程度となっている。

一方で、「卒業生の看護実践を知る機会が充実していた」や「インターンシップなどの案内が充実していた」、「1年次に、手厚い教育を受けた」については、肯定的回答と否定的回答が分かれる傾向にある。また、「卒業後に大学から定期的な連絡があるとよい」は3割で、連絡を希望する学生は例年通り少ない。

Q1-1. 過年度との比較

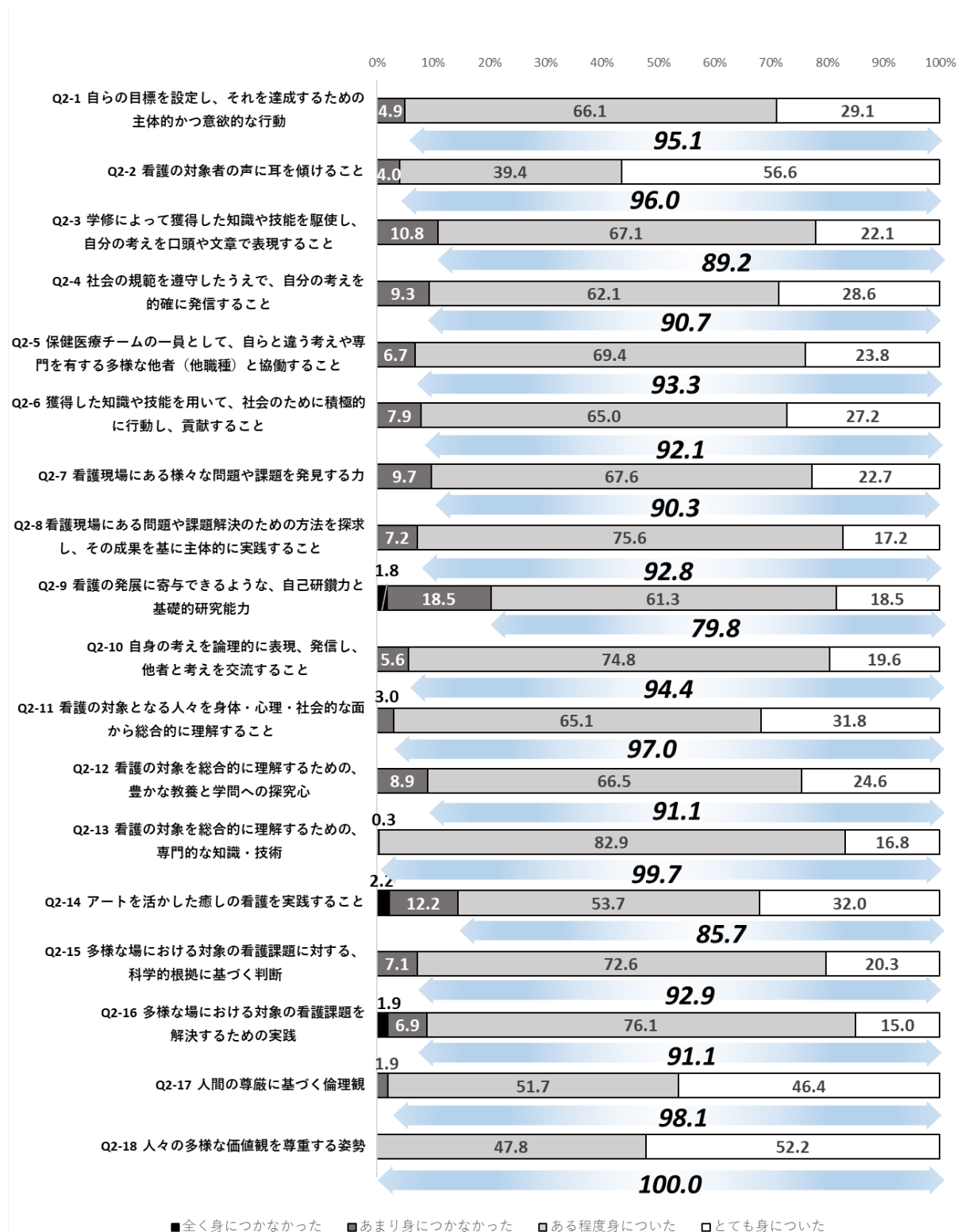
各項目への回答を点数化し、平均値を比較した（最大値 3、最小値 0）。



今年度調査は例年通りか、少し点数が低い傾向にある。特に、例年より高い項目として「就職・進学についての相談体制が整っていた」、低い項目として「卒業生の看護実践を知る機会が充実していた」が挙げられる。また、「就職などの進路について、教員に相談した」と「授業以外で教員と親しく会話をしたりした」も少し低く、教員とのコミュニケーションを求める学生が多いようである。

Q2. 大学で身に付けた力について

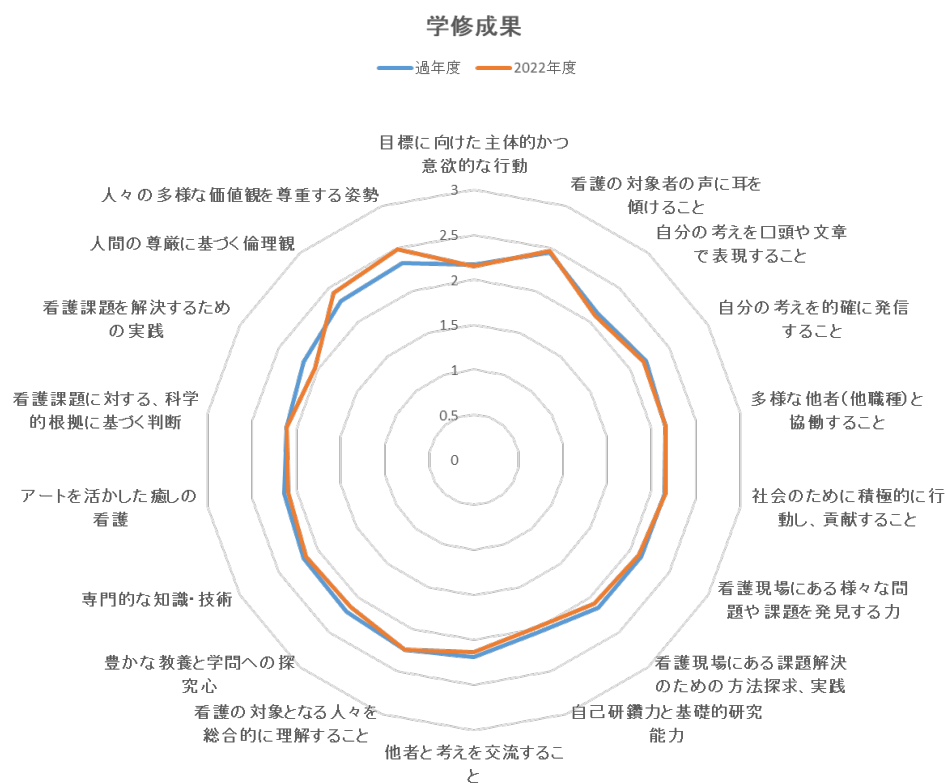
※図中の太字・斜体の数値は「とても身についた」「ある程度身についた」の合計（％）



この項目は、本学部のディプロマポリシーをもとに設定されたものである。全体的に肯定的回答割合（「とても身についた」＋「ある程度身についた」）が高く9割を超える項目が多い。特に、「人々の多様な価値観を尊重する姿勢」、「看護の対象者の声に耳を傾けること」、「看護の対象を総合的に理解するための豊かな教養と学問への探求心」、「看護の対象となる人々を総合的に理解すること」「人間の尊厳に基づく倫理観」、「人々の多様な価値観を尊重する姿勢」でいずれも95%を超えている。一方で、「アートを活かした癒しの看護を实践すること」と「看護の発展に寄与できるような、自己研鑽力と基礎的研究能力」は8割程度にとどまっている。

Q2-1. 過年度との比較

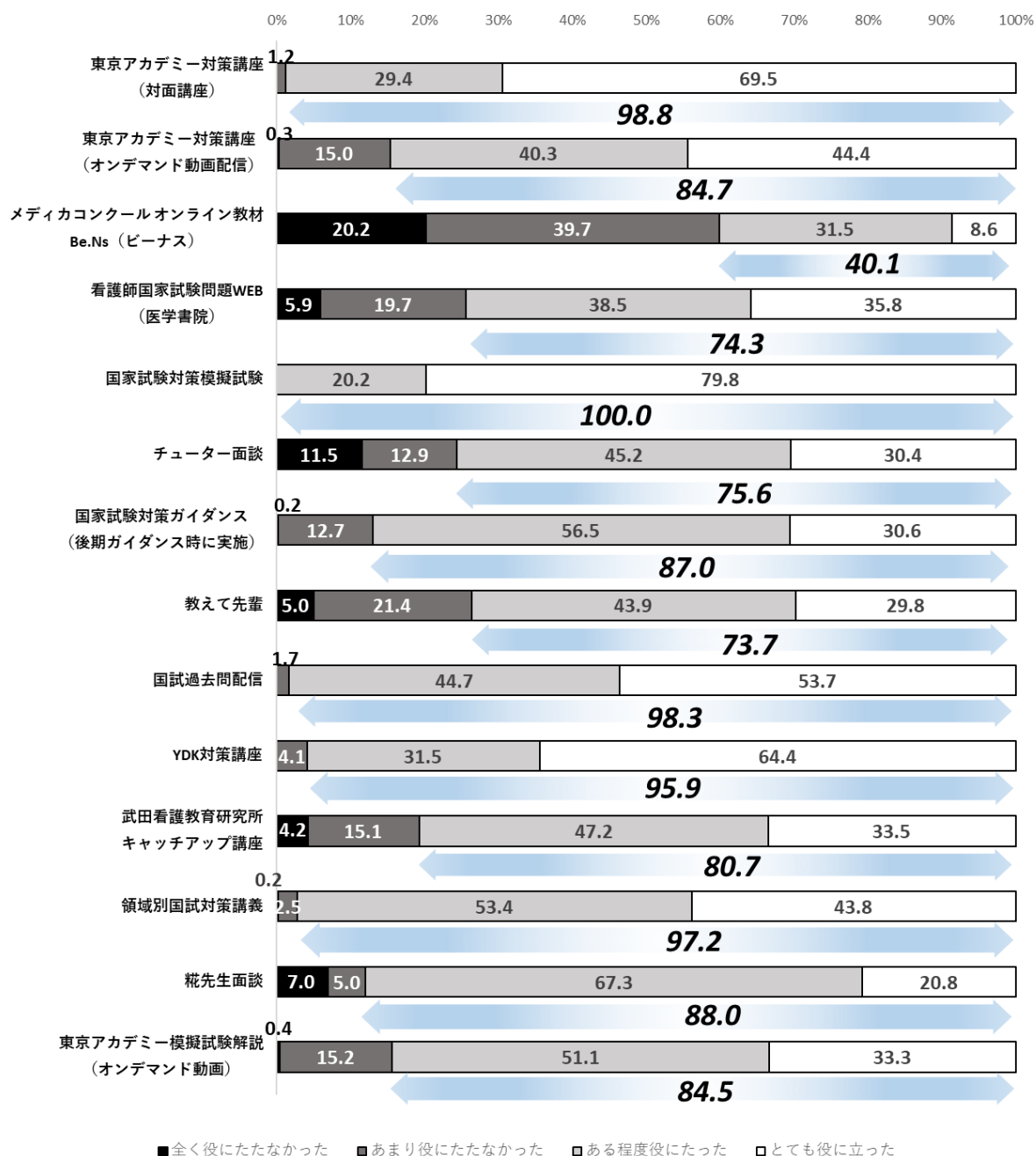
今年度は過年度とほぼ変わらない傾向にある。例年より高くなっている項目として、「人間の尊厳に基づく倫理観」、「人々の多様な価値観を尊重する姿勢」が挙げられる。「看護課題を解決するための実践」はやや低い。



Q3. 国家試験対策について

※図中の太字・斜体の数値は「とても役に立った」「ある程度役に立った」の合計（％）

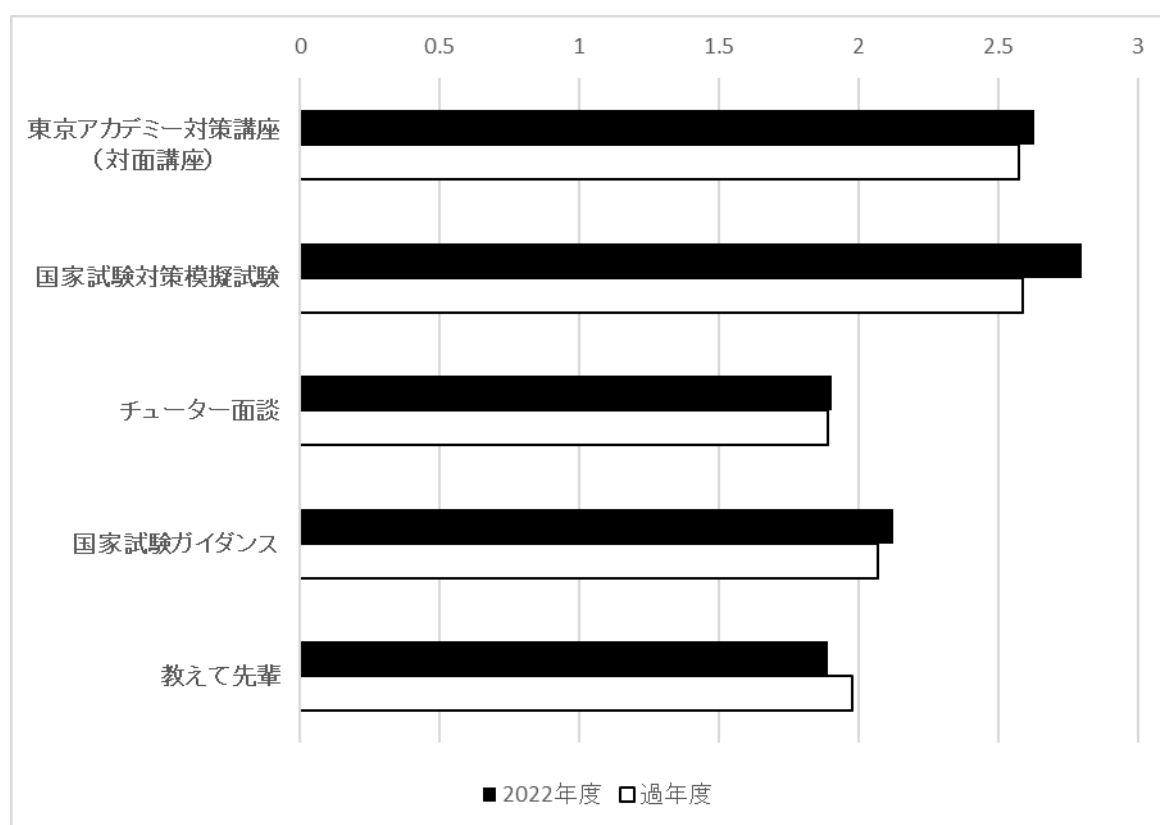
※それぞれ対象となった学生のみでの回答結果を示しているため、項目ごと人数は異なる。



肯定的回答割合（「とても役に立った」＋「ある程度役に立った」）が高いのは「国家試験対策模擬試験」であり、次いで「東京アカデミー対策講座（対面講座）」、「国試過去問配信」「領域別国試対策講義」「YDK 対策講座」で、いずれも 95%を超えている。また、「国家試

験ガイダンス」、「東京アカデミー対策講座（オンデマンド動画配信）」「梶先生面談」「武田看護教育研究所キャッチアップ講座」を肯定的に評価する学生も 8 割を超えている。一方で、「メディカコンクールオンライン教材」は評価が割れている。

過年度との比較



過去に同様の取り組みをしていたものとの比較である。今年度は、「東京アカデミー対策講座（対面講座）」と「国家試験対策模擬試験」「国家試験ガイダンス」への評価が過年度より向上している。一方で、「教えて先輩」への評価はやや低くなっている。

Q4 国家試験対策についてよかった点、改善してほしい点などがあれば自由に書いてください。

東京アカデミーについて

- 東アカの講座はわかりやすかったけれど、途中で先生がかわってやり方が違ったので 1 人に統一してほしい。
- 秋から冬にかけての東アカの頻度をもっと増やしてほしい。
- 東京アカデミーの児島先生の授業がとても良かったです。

- 東京アカデミーの先生を途中で変えるのは良くないと思いました。
- 後輩たちには東アカの大切さを伝えてほしいです
- 東京アカデミーの講義を大学の団体として受けさせてくれたことが嬉しかったです。
- 東アカの先生を途中で変えないで欲しい
- 東アカの講義を対面で学内で受けれたことが良かった。とてもためになった。
- 東アカの講座は本当に助かりました。東アカがなければここまでこれなかったと思います。

YDKについて

- YDK などの対策に振り分けられたときに、自分がやばいところにいるのだと危機感を持つことができたので、自分がどの辺りにいてこのままではダメだという意識を持つことができてよかった。
- YDK はとても良かったと思います。BeNs が個人的にすごく使えたので、もうちょっと推していてもいいのではと思います。紙に手が伸びにくくても電子でならやり始められる人も多いと思いました
- 集中力がないので、YDK などみんなと一緒に勉強できる環境がすごく役に立ちました。
- 最初はどんな勉強をすれば良いか分からなかったため YDK や東アカの講座で基礎の知識が身についたと思うので良かった

教師について

- 担当講師は一貫した方が嬉しいです。教える内容は誰が教えても変わりませんが、話し方やスピード、授業方法が統一していると、受け取り側としてもとてもやりやすいです。

国試過去問配信について

- 過去問を一方的に解くだけでなく、予想問題など、理解を問う問題を解く機会を増やすべきかと思った。とにかく、アウトプットする機会があまりにも少ないことと、国試対策講座だけでは物足りないなと感じている。他の大学のことはあまり言いたくはないが、毎週大学側が模試を制作してくれるところもある。そういった面などから、あまり手厚い対応は感じられなかったため、次年度以降は問題をみんなで解く機会を増やすべきなのではないかと考える。
- 国試問題の配信で 10 問とか 50 問ならまだやってたけど、200 問とか出されたら、携帯でやるのが苦手だったので後半はやらなくなってしまった。まだ朝昼に 100 問ずつ分けて配信された方がやってたかなと思った
- 先生が毎日、過去問題を配信してくれていたのが凄く勉強になった。他の先生たちの特別講義も国試出やすい箇所を教えてくれたので、よかったし分かりやすかった。

国試対策全般について

- 国試の説明や教えて先輩の話はもうちょっと早めにしてほしかった。今更遅いと感じるものが多かった。
- もう少し対策講座があると思っていたが、思っていたよりなかったのが、残念だった。もう少し対策講座を増やして、学校に来る機会を増やしてみんなで勉強するという雰囲気ができるようになると協力しあってできるのかなと思った。
- チューターの先生によって国試対策のサポートがバラバラすぎて、先生によっては全くなにもないのが残念だった。他の学生が国家試験前にお守りをもらったりやプリントをもらったりなど羨ましかった。
- 面談や履歴書作成など時期が重なりなかなか面談予約が取れなかった。基礎からじっくり学ぶ国試対策が為になったと思う。
- 各領域別の先生の講座はとても身になったと思っています。
- 国試のときは一から人体構造を勉強し直すのが大変だった。
- 国試対策をたくさん行っていただいたので予備校など他に行かなくても十分対策することができました。
- 時々対策講座があり周りと話して勉強のやる気がでていたのでよかった。

教えて先輩について

- 教えて先輩は、もう少し早い時期に開催欲しかった。
- 卒論研究担当の先生に、細かい相談がしにくかった

その他

- 児島先生に最後まで見てもらいたかった。図書館とか予約しないと勉強できないのが、その一手間が勉強を遠ざけたから 2 階のコンセントがあるところみたいないつでも勉強できる場所がもっと欲しい。
- 学校で 4 年生専用の勉強できるところを用意して欲しかった。特に、定期テスト期間は他学年がラウンジでも図書室でも自習室でも騒がしかった。
- 自習室を広くして欲しい
- 国試の教材を買った後だったので、買う前に教えてくれると教材選びの参考になったと思った。
- 最初のうちは何をやれば良いのかわからないので、この日までにこれをしなさいと言われたらやろうという気になる
- 手軽で主体的に学べるツールが欲しかった。アプリケーション。
- 私は法律関係の事を覚えるのが多すぎてどうすればいいかわからなくなってしまったので、後輩達には出やすい法律などをまとめてくれたり教えてあげてほしいです。
- 対面で、やって頂けたのが良かった

Q4. 本学で大学生活を送って良かったと感じている点や、より魅力的な大学になるための改善点などがあれば、詳しく教えてください。

学生同士のつながりについて

- 1 クラスなので友人が作りやすかったこと、ご親切な先生方ばかりだったことなど非常に過ごしやすかったです！
- 友達がたくさんできてたくさん遊べて嬉しかった！
- 看護について勉強すること、友達ができたことが良かったです。
- 同じ目標を目指す人がたくさんいることがすごく心強かった。また友達には恵まれることができた。人間関係に悩むことはなかった。
- 友達と助け合いながら、送れて良かったです。

授業について

- コロナ禍の授業がとても大変でした。
- 1 年次の授業をもっと分かりやすい授業にして、きちんと教えてもらえるようにしてほしい。

相談・サポートについて

- 先生と生徒の距離が近く気軽に相談したり時には愚痴を言っても受け止めてくれたりして精神的に助かった場面が多くあったので今後も後輩たちにそういった関係を築けてもらえたらいいなと思いました。
- もう少しチューター面談が充実していると良いと思う。
- 先生がとても親身になって色々対策をしてくださったのはとてもありがたかった。

設備について

- 6 階の自動販売機の種類をもう少し豊富にしてほしい。紙コップを元に戻して欲しい。実習時は特に、早い者勝ちになってしまうのでみんながよく使う図書館の参考書を増やして欲しい。
- ロッカーが狭いので、着替える時大変。
- 学籍番号順だと着替えが一緒なので、前半後半を交互にするなどして演習などの時に混雑しないようにしてほしい。
- 学食か、コンビニとかそういうものを作って欲しい。
- お弁当もやってたけど、あんまり美味しくなかった。
- 学食をたべてみたかった！
- 自習するスペースが狭い

- 自習室が充実していて勉強しやすかった。でも、自習室で喋ったり、下の学年が来た時にすごい騒がれることもあったのでその時は勉強しにくかった。
- 図書が充実しているのがとてもありがたかった。また、アートの授業が実習や日常生活で役に立つことがあり、他の大学にはないとても魅力があると思いました。
- 図書室の椅子を綺麗にしてほしいです。ラウンジの机も新しくしてほしいです
- 静かに勉強できる環境整備をして欲しかった。
- 勉強できるスペースが個人的に、充実していると思う。充電できるスペースや、飲食しながら勉強できたりと、図書館以外にもできるスペースがあるということはとても恵まれているなと思っていた。

その他

- 阪急通るたび揺れるの耐震工事する時にどうにかした方がいいと思う。OCで気にしてる親がいた。アートは苦手だと思ってたけど楽しかった。外部の先生が実習の時とか多いので、学生意見箱をみんなが使えるような雰囲気になって欲しい。
- スケジュールの発表が遅いので、他の予定が立てにくい。
- 梅田が近いので、オンとオフの切り替えがしやすい。
- 立地がいい。靴下忘れてもどこかしらに買いに行ける。あと、アート売りにしてるのここくらいしかないと思うから、それはいい点だと思う。
- 低学年の時には大学の魅力が発見できませんでしたが、実習が始まり、積極的にこの大学の先生や事務の方、同期と関わると、自ずと充実しました。それは、自分自身が意識して行動しているから具体的に良いところも見つけれただと思います。大学の魅力は自分で見つけていくものだと感じています。
- 宝塚大学が工夫してくださっていることに改善点はありません。

以上